



クレア海外経済セミナー

これからのインバウンド・外国人目線で 考えることの重要性 ～身近な外国人材活用のヒント～

本セミナーでは、インバウンドの第一線でご活躍されている講師を迎え、インバウンドを考える上で外国人の目線を取り入れることの重要性等について講演いただきます。さらに、現在インバウンド推進に携わっている元JETプログラム*参加者と積極的に本プログラム参加者を活用している自治体の職員を迎え、今後のインバウンド活性化につながるヒントとして、身近な外国人材の活用という視点でパネルディスカッションを行います。

多くの皆様のご参加をお待ちしております！

*JETプログラムについては、次項下段をご参照ください。

開催概要

日 時	令和3年2月25日(木) 14:00～17:00
開催形式	オンライン (zoomウェビナー)
主催	(一財)自治体国際化協会
対象者	自治体、DMO・観光協会含む関連団体等、JETプログラム活用団体等
参加費	無料 ※事前登録制 (先着順、定員500名)

内容・次第

※ 内容・時間は、今後変更される場合がございます。
※ 講演時間には質疑応答時間(10分)を含みます。

開会あいさつ 14:00～14:10	(一財)自治体国際化協会 常務理事 南光院 誠之
■基調講演 14:10～15:10	株式会社やまごころ 代表取締役 村山 慶輔 氏
15:10～15:20	=休憩=
■パネルディスカッション 15:20～16:40	「身近な外国人材活用のヒント」 モデレーター：(一財)自治体国際化協会 経済交流課 課長 加藤周幸 パネリスト：金沢市都市政策局国際交流課 課長 山田敏之 氏 三好市地域おこし協力隊 張楠(チョウナン) 氏 田辺市熊野ツーリズムビューロー プロモーション事業部長 ブラッド・トウル 氏
16:40～16:50	クレア事業紹介
16:50	閉会挨拶

お申込み

【お申込み方法】 2月22日(月)までに、下記または右側QRコードのHPの申込フォームよりお申し込みください。 <http://economy.clair.or.jp/activity/seminar/>

【お問い合わせ】 (一財)自治体国際化協会 経済交流課 (担当：福田、大澤)
TEL：03-5213-1726 / E-mail：keishin@clair.or.jp





1. 株式会社やまごころ 代表取締役 村山慶輔 氏

兵庫県神戸市出身。米国ウィスコンシン大学マディソン校卒。アクセンチュア株式会社(戦略グループ)を経て、2007年より国内最大級のインバウンド観光情報サイト「やまごころ.jp」を運営。「インバウンドツーリズムを通じて日本を元気にする」をミッションに、内閣府観光戦略実行推進有識者会議メンバー、観光庁最先端観光コンテンツインキュベーター事業委員をはじめ、国や地域の観光政策に携わる。「ワールドビジネスサテライト」「NHKワールド」など国内外のメディアへ出演。著書に『インバウンド対応実践講座』(翔泳社)、『観光再生 サステナブルな地域をつくる28のキーワード』(プレジデント社)などがある。



2. 金沢市都市政策局国際交流課 課長 山田敏之 氏

1988年金沢市役所入庁、商業振興課、行政経営課などの後、2014年からは交流戦略推進室長、まちなかビジネス振興室長、金沢港活性化推進室長を経て、2018年より現職。

経済関係では、市中心部のオフィス誘致や商店街の支援、食文化の振興、金沢港の利用促進などを策を通じたまちの活性化施策に携わる一方、国際関係では、海外との都市間交流の推進とともに多文化共生社会の実現に向けて、金沢市国際交流戦略プランや金沢市多言語表記ガイドラインを策定して「遠方の海外都市との交流、多言語での情報伝達といったバリアを人材ネットワークで乗り越える」取り組みを実践している。



3. 三好市地域おこし協力隊 張楠(チョウ ナン) 氏

中国安徽省出身。2017年にJETプログラム参加者として来日し、徳島県庁国際課へCIR(国際交流員)として配属。2019年から、三好市地域おこし協力隊として、三好市及びにし阿波観光圏の観光・インバウンド業務に携わる。

現在、翻訳・通訳業務、商談会やファミツアー、SNSによる多言語の情報発信、水餃子教室による地域住民との交流、国際理解支援講師などの取組を行いながら、地方の観光、地域の課題解決、国際交流に取り組んでいる。また、通訳案内士や旅行業務取扱管理者などの国家試験にも挑戦しているところ。将来は、観光経営のプロとして日本の観光・インバウンド、地方創生及び国際交流に貢献したいと考えている。



4. 田辺市熊野ツーリズムビューロー プロモーション事業部長 ブラッド・トゥル 氏

1975年カナダ・マニトバ州生まれ。マニトバ大学スポーツサイエンス学部卒業。世界30カ国以上を旅した経験を有する。和歌山県本宮町(現田辺市)に英語指導助手(ALT)として3年間勤務した縁で、平成18(2006)年、田辺市熊野ツーリズムビューローの発足にあわせて国際観光推進員に就任し、現在に至る。

目的意識の高い外国人旅行者の誘客促進のため、また世界に開かれた質の高い持続可能な観光地を目指し、田辺市や熊野エリアの魅力発信と、地域と連携した受け入れ地のレベルアップ、主に欧米豪の個人旅行者を対象とした着地型旅行業に取り組んでおり、「熊野の魅力を世界に知らせたい」という思いで日々活動している。

JETプログラムとは

JETプログラムは、「語学指導等を行う外国青年招致事業」(The Japan Exchange and Teaching Programme)の略称で、地方自治体が総務省、外務省、文部科学省及び一般財団法人自治体国際化協会(CLAIR)の協力の下に実施しています。

JETプログラムは主に海外の青年を招致し、地方自治体、教育委員会及び全国の小・中学校や高等学校で、国際交流の業務と外国語教育に携わることにより、地域レベルでの草の根の国際化を推進することを目的としています。国内はもとより、世界各国から大規模な国際人的交流として高く評価されており、このプログラムに係わる日本の各地域の人々と参加者が国際的なネットワークをつくり、国際社会において豊かな成果を实らせることが期待されています。

令和元年に33年目を迎え、招致国は4カ国から57カ国に、参加者も848人から5,761人へと、事業は大きく発展してきています。また、JETプログラム開始以来、75ヶ国から7万人以上が参加しています。現在、45都道府県と18政令指定都市を含む約1,000の地方公共団体等(任用団体)が参加者を受け入れています。